

# 第1章 概要

## 1.1 はじめに

本報告書は、2012年名古屋大学日本語教育実習についてまとめたものである。この実習では、学習者募集、コースデザイン、本報告書の作成など、すべて実習生が行った。

まず、本章では実習の特徴やコースの概要、スケジュールなど、実習全体の概要を述べる。次に第2章では、実習生が分担した各係の仕事内容について説明する。第3章では、参加者募集に関すること、事前に行った準備について、そして第4章では、通常クラスのシラバスや授業内容、そして特別活動について詳述する。最後に、第5章でコース終了時に行ったアンケート調査の結果をまとめ、実習全体の総括を第6章で述べる。

## 1.2 担当実習生

2012年名古屋大学日本語教育実習に参加した実習生は以下の8名である。実習生のうち、6名は国際言語文化研究科日本語文化専攻博士前期課程1年の学生、2名は博士後期課程の学生である。

実習生（8名）：飯田香織、飯田理恵子、梶原彩子、川口治花  
久野百代、高橋暦、筒井紀衣、梁辰

TA（4名）：石黒利江子、入江友理、國澤里美、田中典子

## 1.3 実習の特徴

本実習の特徴は以下の10点である。

- ①春期休暇中の3週間に渡って行われるコースである。
- ②初級文型を復習しながら、話すこと・日本で生活する上で必要な言語能力を身につけることを目標にしたコースである。
- ③対象者はG30bクラス、初級日本語特別コース（初級・初中級）、全学日本語集中コース（初級ⅠⅡ）の学習者に絞り募集を行う。
- ④最終週に日本語での発表活動を実施し、よい発表について考え、日本語で発表及び質疑応答ができるようになることを目標とした特別活動を行う。
- ⑤教材については、実習生はTAのサポートのもと担当部分を自主作成する。
- ⑥実習生2名とTA1名が1チームとなり、初めの2週はTAのアドバイスのもとで1チームで1日（90分×3コマ）を担当する。最後の1週は実習生のみで授業を行う。

- ⑦学習目標の決定は実習希望者・非希望者が一緒に授業内（日本語教授法概論 b）に行う。
- ⑧各日の学習項目の設定は実習生のみで行う。
- ⑨担当日にはメーリングリストに簡潔に授業報告を流す。(ML 立上げ: 鷲見先生) 諸々の連絡もこのメーリングリストを使用する。
- ⑩実習期間中、TA は次のような役割を担う。(各課の授業計画立案の手助け・相談、実習生が担当する部分以外の授業の担当、模擬授業の指導、授業後の振り返り、見学の受け入れ、授業時間中のフォロー、実習生授業のビデオ設置・撮影)

## 1.4 実習の概要

以下が今回の実習で行うコースの概要である。

期 間：2012年2月13日（月）～3月1日（木）

時 間：9：00-14：30

教 室：文系総合館 6階 609号室

時間割：

第1週	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
日付	2/13（月）	2/14（火）	2/15（水）	2/16（木）	2/17（金）
担当 TA	入江	石黒	國澤	石黒	田中
実習生	飯田か・久野	川口・筒井	飯田り・梶原	川口・筒井	高橋・梁
第2週	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目
日付	2/20（月）	2/21（火）	2/22（水）	2/23（木）	2/24（金）
担当 TA	入江	國澤	田中	國澤	入江
実習生	飯田か・久野	飯田り・梶原	高橋・梁	飯田り・梶原	飯田か・久野
第3週	11日目	12日目	13日目	14日目	
日付	2/27（月）	2/28（火）	2/29（水）	3/1（木）	
担当 TA					
実習生	飯田か・久野	川口・筒井	高橋・梁	川口・筒井	

## 1.5 特別活動の概要

10日目～13日目（2/24～2/29）の3時間目（90分×4日）、14日目の1、2時間目は特別活動として「発表」に焦点を当てた活動を行った。14日目の2時間目にはその活動の集大成として、皆の前で「地震」についての発表活動を行った。総42コマの内、特別活動に6時間を当てた。（1コマは最終日パーティー）特別活動の詳細については第4章の4.3で詳述する。

## 1.6 実習全体の流れ

12月から実習終了までの全体の流れはスケジュール表通りである。実習生全体で行った活動は「授業外」、今回の実習は、日本語教授法概論 a.b の授業と連動していたため、授業中に行った活動は、「授業内」の欄に記入してある。各授業のペアが行った活動は「各授業ペア」の欄に、係で行った活動は「各係」の欄に記入した。表内の略記については以下の通りである。

(ミ) : ミーティング	(オ) : オリエンテーション係	(募) : 学習者募集係
(ウ) : ウェブ係	(事後) : 事後アンケート係	(パ) : パーティー係

実習全体の流れについては、資料 1 「実習全体の流れ」を参照のこと。

(文責 : 梶原)